

健康 さがみはら

発行 一般社団法人 相模原市医師会

明けましておめでとうございます。
「健康さがみはら」では、皆様の健康に役立つ内容
をお届けしております。
今回は、頭痛の特徴や対処法
についての説明と、がん相談
支援センターの紹介について
の記事となっています。
是非、ご一読ください。



上空からの富士山
平尾 隆

相模原市長 本村 賢太郎



市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、3年余りに渡ったコロナ禍を乗り越え、多くの方々の懸命な努力によって希望を取り戻した一年でした。中止や縮小を余儀なくされてきたイベントが再開され、「新しい日常」のもと、多くの皆様の笑顔に接することができ、まちに賑わいが戻ってきたことを実感いたしました。

この場をお借りし、市民の皆様の積極的なワクチン接種など感染対策への日々の御努力と、医療関係者を筆頭に暮らしを最前線で支える方々の御尽力に、改めて深くお礼を申し上げます。

本市では、疾病や障害の有無にかかわらず誰もが自分らしく生き生きと暮らし続けられる活力ある社会の実現を目的として、「相模原市健康づくり推進条例」を令和5年4月に施行しました。子どもからシニア世代まで72万市民を誰一人取り残さないよう、今後は条例に掲げる基本的施策を推進するための計画を策定し、市民の皆様の健康づくりにつつまして、市・市民・関係者の方々との連携協力のもと、総合的に進めてまいります。

また、本年4月からは「医師の働き方改革」の施行に伴い、本市としても救急車の適正利用や救急医療機関の適正受診に繋がるシステムの導入に向けた取組とともに、市民の皆様が安全・安心な医療を受けられるよう、かかりつけ医の普及・定着に向けた活動を進めるなど、市医師会をはじめとする医療関係団体と連携し、持続可能な救急医療体制の確保に全力を尽くしてまいります。

新しい年が、皆様にとりまして希望に満ち溢れる一年となりますことを心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

一般社団法人相模原市医師会 会長 細田 稔



明けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、希望の新年をお迎えのことと思います。
日頃から、本紙「健康さがみはら」をご愛読いただき誠にありがとうございます。

昨年を振り返りますと、5月にWHOは新型コロナウイルス感染症に関する「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態の宣言」を終了すると発表しました。2020年1月に宣言されてから3年余りでの解除となり、パンデミックの終焉に向けた大きな一歩となりました。

同時に国内では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、2類相当から5類に引き下げられ、感染対策の実施については個人・事業主の判断となりました。この転換により私たちが生活するうえで守ってきた制約が緩和され、コロナ禍以前の日常に戻りつつあることを実感しています。

これに伴い、スポーツ観戦等における多くの制限も解除され選手たちの活躍をより感じるようになりました。特に昨年開催された世界大会において、野球では侍ジャパンの3大会ぶりのWBC優勝や、サッカー女子・バスケットボール男子・ラグビー男子ワールドカップでの日本代表選手の活躍は、私たちに大きな希望と感動を与えてくれました。

一方、新型コロナウイルス感染症は今もなお周期的な感染者数の増加がみられています。高齢者や基礎疾患のある方には重症化する恐れのある感染症であることに変わりはありません。引き続き医療機関を受診する際など効果的な場面でのマスク着用・手洗いなど基本的な感染対策をお願いいたします。

本年も相模原市医師会は新型コロナウイルス感染症への対応はもとより、各メディカルセンター急病診療所や訪問看護ステーションの運営、各種健(検)診や予防接種など、会員一丸となって全力を注いでまいります。

結びとなりますが、本年も市民の皆さまが毎日健康で元気よくご活躍されることと祈念いたしまして年頭のごあいさつとさせていただきます。

